



令和4年度 第1回 神奈川県大規模氾濫減災協議会

3 実施事項

3 実施事項

(2) 令和3年12月に改定した主な取組の 進捗状況について

主な取組の進捗状況について

取組（H30.1策定）	取組（R2.6改定）	取組（R3.12改定）	進捗状況
<ul style="list-style-type: none"> 整備効果の高い箇所から、計画的な護岸や遊水地等の整備 重点的に堆積土砂の撤去を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 遊水地や流路のボトルネック箇所等の整備を加速 河床掘削・樹木伐採等の緊急実施 	同左	実施中
<ul style="list-style-type: none"> 想定最大規模降雨を対象とした浸水想定区域図やハザードマップの見直しを概ね5年を目標に実施 	<ul style="list-style-type: none"> ハザードマップの見直しを令和2年度を目標に実施 	<ul style="list-style-type: none"> 準用河川を含むハザードマップの作成 	8/21市町作成済
		<ul style="list-style-type: none"> 作成したハザードマップの周知・活用の検討 	全市町村実施中
<ul style="list-style-type: none"> 水位計等の増設 	<ul style="list-style-type: none"> 簡易水位計や簡易型河川監視カメラの設置を必要性の高い箇所から設置 	同左	実施中
<ul style="list-style-type: none"> 水害対応タイムラインについて、概ね5年を目標に作成 	<ul style="list-style-type: none"> 水害対応タイムラインについて、令和2年度を目標に作成 	<ul style="list-style-type: none"> 作成したタイムラインの検証・見直しを実施 	27/32市町村実施中
<ul style="list-style-type: none"> 要配慮者利用施設における避難確保計画を概ね5年を目標に作成 	<ul style="list-style-type: none"> 要配慮者利用施設における避難確保計画を令和3年度を目標に作成 	<ul style="list-style-type: none"> 要配慮者施設における避難確保計画の作成及び避難訓練の実施 	約8割作成済
—	<ul style="list-style-type: none"> わたしの避難行動（マイマップ・マイ・タイムライン等）に係る取組を実施 	同左	全市町村実施中

主な取組の進捗状況について

◇ 遊水地や流路のボトルネック箇所等の整備の加速（県）

「神奈川県水防災戦略」に掲げた「**中長期的な視点で取組みを加速化させるハード対策**」として、遊水地の整備や流路のボトルネック箇所の鉄道橋架替など、**限られた区域の整備で広い範囲に効果が期待できる大規模事業**に重点的、集中的に取り組んでいる。

1 山王川小田急橋梁架替 工事中



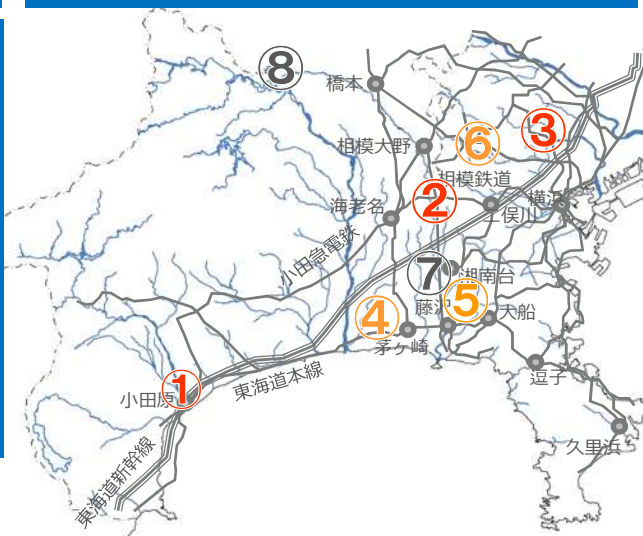
2 境川相鉄橋梁架替 工事中



3 矢上川地下調節池 工事中



4 小出川新規遊水地 工事中



5 柏尾川新規遊水地 用地取得済

6 恩田川新規遊水地 用地取得中

7 引地川下土棚遊水地 R2年度 本体完成

8 境川風間遊水地 R3年度 本体完成

主な取組の進捗状況について

◇境川風間遊水地の整備（県）

平成23年度から風間遊水地の整備に着手し、令和4年3月に本体工事が完成しました。



風間遊水地の概要

面積：約1ha

貯水容量：約2万 m^3

※雨のピーク時において1秒間に約9 m^3 の洪水を貯水する効果が期待できます

主な取組の進捗状況について

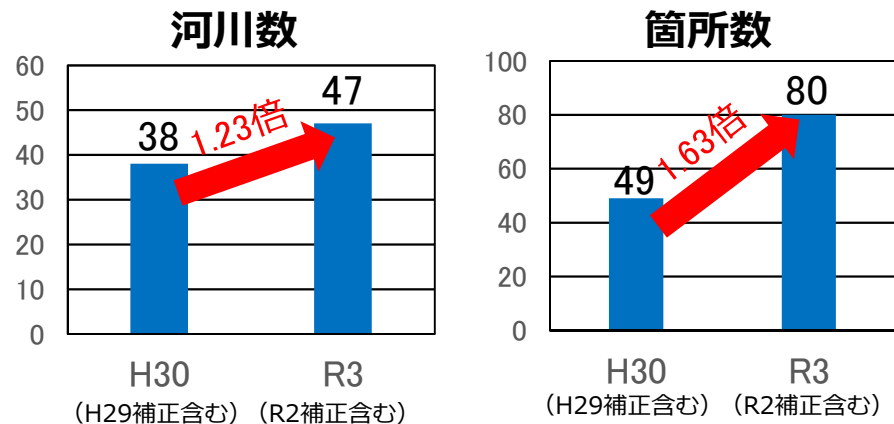
◇河床掘削・樹木伐採等の緊急実施（県）

令和2年2月に策定した「神奈川県水防災戦略」に掲げた「緊急に実施することで被害を最小化するハード対策」として、市町村が強く要望している区間や氾濫の危険性が特に高い区間について、国の「5か年加速化対策」の財源も活用し、堆積土砂の撤去等を重点的に取り組んでいる。

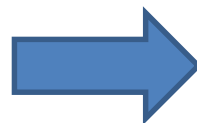
【実績（R2以降）】

年度	実施箇所
R 2	38河川 72箇所
R 3	47河川 80箇所
R 4（予定）	43河川 81箇所
合計	60河川233箇所

【成果】



【事例】



狩川
(南足柄市)



主な取組の進捗状況について

◇ 洪水ハザードマップ（市町村）

【これまで】

- 令和2年4月までに、対象となる108河川において、想定最大規模に対応した洪水浸水想定区域図等を作成済（県）
- 想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図等に基づく洪水ハザードマップの作成・公表については、令和3年度末までに全市町村で完了（市町村）

【課題】

- 水害リスク情報の空白地帯の解消のため、市町村が管理する準用河川を含む洪水浸水想定区域の検討も必要であり、10月末時点で、対象となる21市町のうち、**8市町**で洪水ハザードマップに反映済み
- 多くの方々に水害リスクを把握していただく必要があることから、更なる周知が必要である。



準用河川を含む洪水ハザードマップの作成状況（R4.10末）

※同一市町村内に対象河川が複数ある場合、すべての河川で作成されていれば作成済市町村として着色している

【今後の予定】

- 洪水浸水想定区域図が作成された場合は、速やかに洪水ハザードマップを見直す。
- 協議会等を活用して好事例を共有し、洪水ハザードマップの周知方法や住民が参加した訓練等への活用について検討する。（市町村）

主な取組の進捗状況について

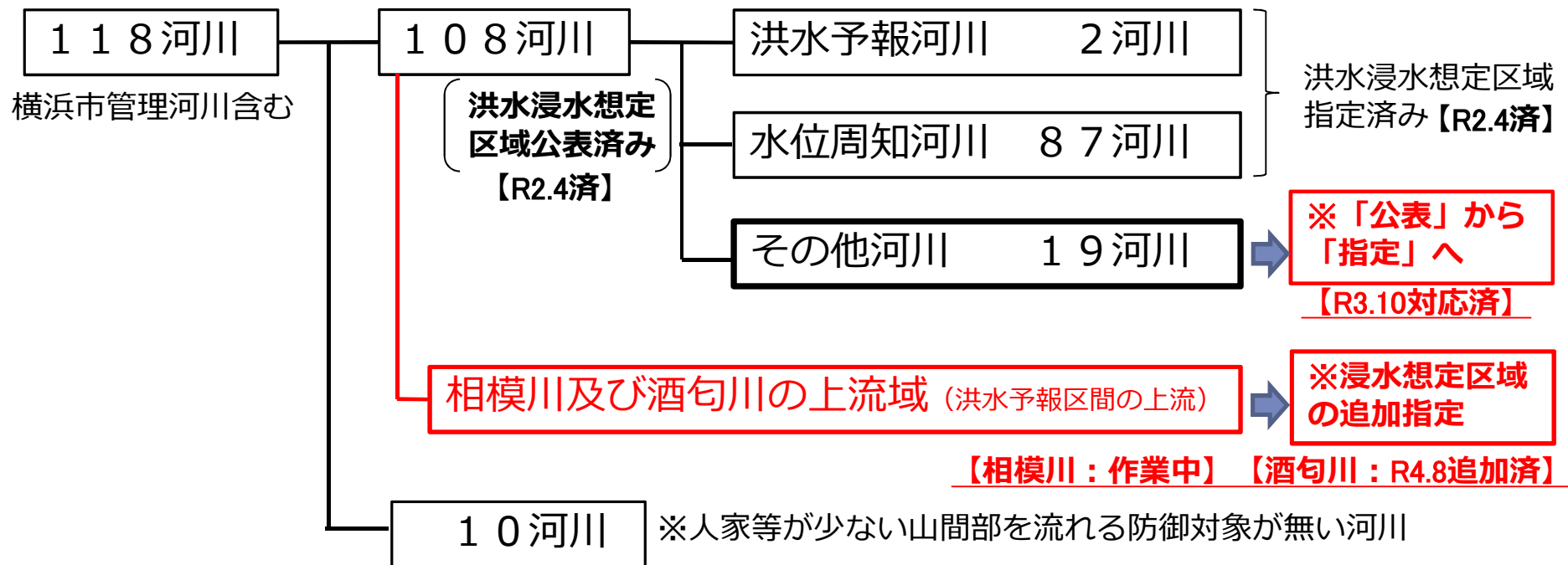
◇ 洪水浸水想定区域の指定拡大に伴う対応（県）

【水防法改正（令和3年7月）】

令和元年東日本台風等では、洪水予報河川や水位周知河川以外の一級・二級河川において、河川氾濫による人的被害が発生したことを踏まえ、**洪水浸水想定区域の指定対象を現行の大河川等から住宅等の防御対象のあるすべての河川流域に拡大**

【本県の対応】

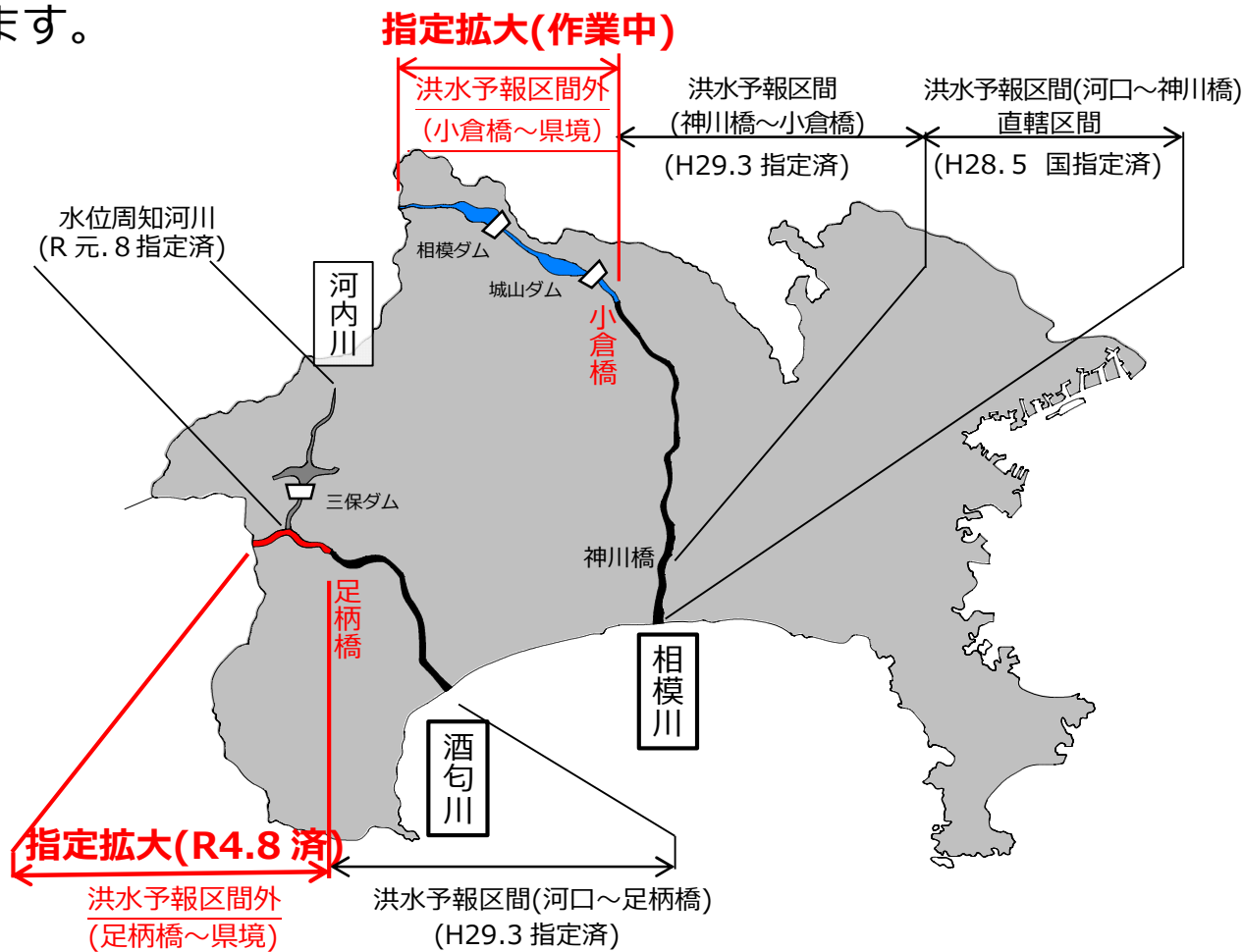
※ : 水防法改正に伴う対応箇所



主な取組の進捗状況について

◇洪水浸水想定区域の指定拡大に伴う対応（県）

令和3年7月の水防法改正により、これまでの洪水予報河川（区間）又は水位周知河川に加え、一級河川及び二級河川における**住宅等の防護対象のある全ての河川に拡大**されたことから、**相模川及び酒匂川の上流域について浸水想定区域を追加指定**していきます。



主な取組の進捗状況について

◇ 簡易水位計及び簡易型河川監視カメラの設置（県）

【これまで】（令和4年3月末時点）

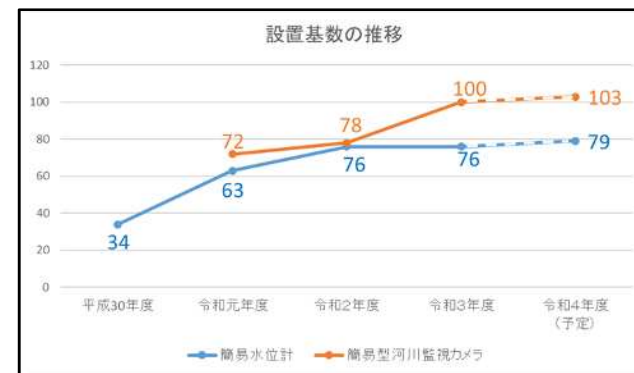
- 簡易水位計 : 43河川、76基設置済
- 簡易型河川監視カメラ : 47河川、100基設置済

【課題】

- 太陽電池で稼働しているため長雨等により無日照状態が続くと電源が喪失し、カメラ画像が確認できない。

【今後の予定】

- 市町村から要望のあった箇所等へ設置を進める。
- 設置済み箇所についても、必要に応じて、商用電源等によるバックアップを進める。



バックアップ方法	パネル・蓄電池増設	商用電源化	合計
これまで (R4.8時点)	15基	16基	31基
今後の予定 (R4.8以降)	24基	16基	40基
合計	39基	32基	71基



主な取組の進捗状況について

◇ 水害対応タイムライン（市町村）

【これまで】

- 水害対応タイムラインについては、令和2年度中の作成を目標としており、全市町村で作成が完了（市町村）

【課題】

- 訓練や大きな出水の際に明らかになった課題や法改正を踏まえ、適宜、検証・見直しする必要がある、令和4年10月末時点で、対象となる32市町村（町田市含む）のうち、**27市町村**（R3.10末時点:20市町村）で検証又は見直し

【今後の予定】

- 訓練や大きな出水後には、適宜、検証し、必要に応じて、配備体制などを見直す（市町村）
- 協議会等を活用して好事例を共有し、内容をいっそう充実（市町村）



水害対応タイムラインの作成状況（R4.10末）

主な取組の進捗状況

◇ 要配慮者利用施設の避難確保計画作成（市町村）

【これまで】

- 対象施設に向けて、説明会等を実施し、計画作成や訓練実施を促進・支援（市町村）
- 市町村の取組に対し、各所管部局で、必要な情報提示などの支援（県）
- 市町村に対し、県関係機関連名による作成促進の通知を発出（県）

【課題】

- 9月末時点で対象施設のうち、約77%の4,146施設（R3.9末時点:3,158施設）で作成済み

【今後の予定】

- 地域防災計画に対象施設が定められていない市町村は、計画を改定し施設を明記（市町村）
- 計画作成等に向け、取組を継続（市町村）
- 協議会等を活用して好事例を共有するなど、取組促進に向けて支援（県）

	浸水想定区域の指定の有無	地域防災計画に要配慮者利用施設が定められているか	対象施設数	避難確保計画作成済み施設数
全体	-	-	5,387	4,146
横浜市	○	定められている	1568	1381
川崎市	○	定められている	2009	1663
相模原市	○	定められている	57	57
横須賀市	○	定められている	77	0
平塚市	○	定められている	355	286
鎌倉市	○	定められている	262	3
藤沢市	○	定められている	223	189
小田原市	○	定められている	188	125
茅ヶ崎市	○	定められている	121	104
逗子市	○	定められている	11	2
三浦市	×	-	-	-
秦野市	○	定められている	32	32
厚木市	○	定められている	181	111
大和市	○	定められている	18	18
伊勢原市	○	定められていない	(6)	(0)
海老名市	○	定められている	108	96
座間市	○	定められている	20	6
南足柄市	○	定められている	23	23
綾瀬市	○	定められていない	(26)	(12)
葉山町	○	定められている	4	4
寒川町	○	定められている	52	31
大磯町	○	定められている	13	0
二宮町	○	-	-	-
中井町	○	定められている	4	4
大井町	○	定められている	4	4
松田町	○	定められている	7	7
山北町	○	定められていない	(2)	(0)
開成町	○	定められている	49	0
箱根町	○	-	-	-
真鶴町	×	-	-	-
湯河原町	○	定められていない	(11)	(7)
愛川町	○	定められていない	(10)	(0)
清川村	○	定められている	1	0

避難確保計画の作成等の進捗状況（R4.9末）

※（ ）内は、洪水浸水想定区域内の対象となる要配慮者利用施設数を記載 **12**

主な取組の進捗状況

◇ マイ・タイムライン※（市町村）

※住民一人ひとりのタイムラインで、台風等で河川水位が上昇する時、自分自身がとる防災行動を時系列的に整理・まとめるもの。

【これまで】

- 住民一人一人の避難行動に繋がるマイ・タイムラインについて、**全市町村**（R3.10末時点:29市町）で取組を実施中（市町村）
- 市町村の取組に対し、必要な情報提示やワークショップ等への参加などの支援（県）
- 普及啓発のため、HPで取組を紹介（県）

【課題】

- 全ての市町村で取組を実施しているが、様々なツールを活用して、より多くの住民に作成してもらう必要がある

【今後の予定】

- 様々なツールを活用した取組の拡大（市町村）
- 協議会等で好事例を共有するなど、市町村の取組をいっそう充実できるよう支援（県）

市町村名	マイタイムライン							その他	
	HP	配布	講座等	広報や防災マップ等掲載	訓練やイベントで啓発	動画作成	作成ガイドブック		ハザードマップに掲載
横浜市	○	○	○	○	○	○	-	-	風水害リーフレット じぶん防災ハンドブック
川崎市	○	-	○	○	○	○	○	-	防災啓発タブロイド紙
相模原市	○	○	○	○	○	○	○	-	さがみはら防災ガイドブック
横須賀市	○	-	-	-	-	-	-	○	
平塚市	○	○	○	-	○	○	-	○	防災ひらつかチャンネル
鎌倉市	○	-	-	○	-	-	-	○	
藤沢市	○	○	-	-	○	-	-	-	ふじさわ防災ナビ
小田原市	○	○	○	○	○	-	-	○	わが家の避難行動マニュアル
茅ヶ崎市	○	○	○	-	-	-	○	○	ハザードマップ別冊 ガイドBOOK
逗子市	-	-	○	-	-	-	-	-	
秦野市	○	○	○	○	○	-	-	-	風水害リーフレット
厚木市	○	○	○	○	○	-	-	○	防災ポケットブック オールハザードマップ
大和市	○	-	○	-	○	-	-	-	
伊勢原市	○	○	○	○	○	-	-	○	
海老名市	○	○	○	○	○	-	-	-	海老名市防災ガイドブック
座間市	-	-	-	-	○	-	-	-	
南足柄市	○	○	○	○	○	-	-	○	
綾瀬市	○	-	○	-	○	-	-	○	
葉山町	○	○	-	○	○	-	-	○	
寒川町	○	-	○	○	○	-	-	○	
大磯町	○	○	-	○	-	-	-	○	広報「おいそ」
二宮町	○	○	-	○	-	-	-	-	
中井町	-	-	-	-	○	-	-	-	
大井町	-	-	○	-	-	-	-	○	
松田町	○	-	○	-	-	-	○	-	
山北町	-	-	○	-	○	-	-	-	防災訓練での啓発(R4.9)
開成町	○	-	-	○	-	-	-	-	
箱根町	○	○	○	○	-	-	-	○	はこね防災ガイドブック
湯河原町	-	-	-	○	-	-	-	-	
愛川町	○	-	○	○	○	-	-	○	
清川村	-	-	-	-	-	-	-	○	
町田市	○	○	○	-	-	-	-	○	
合計	25	16	21	18	19	4	4	17	

マイ・タイムライン等の取組状況（R4.10末）

3 実施事項

(3) 取組事例の紹介について

1) 県の取組事例

取組事例の紹介について

◇ホットラインの改善（県）

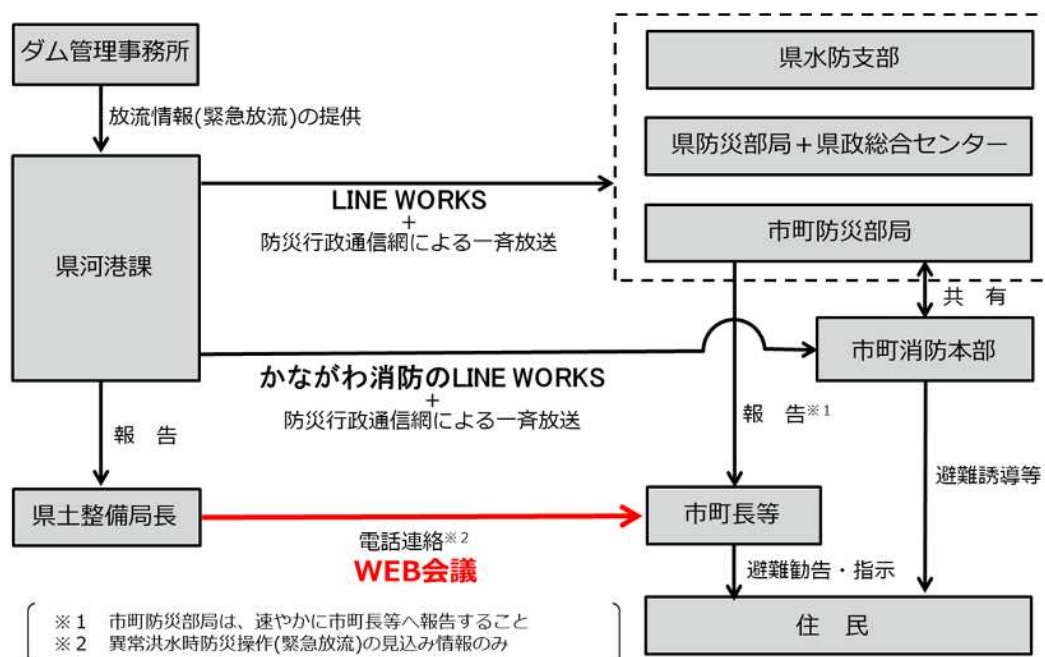
- ダム放流に係る情報共有（ホットライン）について、これまで電話を基本として市町へ情報伝達をしていたが、「LINEWORKS」を基軸とした新たな情報共有の仕組みを構築し、令和2年6月より運用開始した。
- 毎年出水期前に、流域市町などとともに、洪水対応演習を実施しており、その中で、新たに導入した仕組みが有効に運用できるよう、取り組んでいる。

【令和4年度の取組】

- 今年度から、さらに迅速かつ確実に伝達できるよう、市町長等とのホットラインに、新たにWEB会議を試行的に導入した。

【今後の予定】

- 令和5年度から、WEB会議を本格導入するなど、常に内容を見直し、より効果的な手法へと改善する。



取組事例の紹介について

◇ 水防演習の実施（県）

○水防演習は、水害から県民の生命や財産を守るため、水防団や防災機関等の水防活動に従事する者の技術の向上や地域住民の水防に対する理解を深めること等を目的に、実施箇所の近隣水防管理団体（市町村）とともに、隔年で実施している。

【令和4年度水防演習】 日時：令和4年5月29日（日）9時～12時
場所：相模川三川合流地点河川敷（厚木市厚木地先）
主催：県、厚木市、海老名市、綾瀬市、愛川町、清川村

<第1部>

○水防工法訓練

洗掘防止工（木流し工、シート張り工等）

越水防止工（積み土のう工、鋼板積み土のう工等）

シート張り工



鋼板積み土のう工



<第2部>

○救出救助訓練

○排水ポンプ車訓練

○ドローンによる情報収集訓練等

排水ポンプ車訓練



次回の水防演習は、場所を酒匂川に替えて令和6年度に実施する予定。

取組事例の紹介について

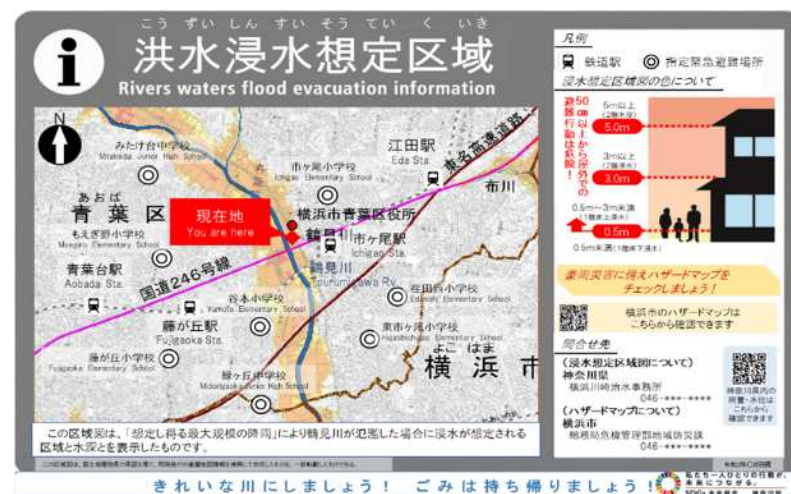
◆ 洪水浸水想定区域の看板設置（県）

- 本県では、住民の自主的な避難を促すソフト対策の一環として、洪水浸水想定区域を周知するため、浸水が想定される県管理河川に、看板の設置を進めている。
- 平成30年度は、洪水予報河川（相模川・酒匂川）を対象に実施し、令和元年度から、水位周知河川へ拡大し、実施している。

【これまでの設置状況】合計46基設置

洪水予報河川：相模川22基、酒匂川13基
計35基

水位周知河川：鶴見川5基、大岡川3基
境川2基、麻生川1基
計11基



【令和4年度の予定】

近年、溢水した河川や氾濫危険水位を超過した河川などを中心に、各土木（治水）事務所・センターで2基程度設置する予定。

設置にあたっての場所の選定 及び ハザードマップを閲覧できるようにQRコードを貼り付けしますので、各市町村におかれましては、ご協力お願いします。

取組事例の紹介について

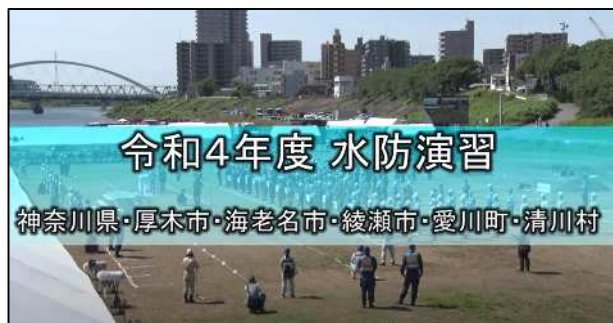
◇ ホームページ及び動画の作成（県）

○本県では、市町村が取り組んでいるマイ・タイムラインの普及啓発を支援するため、マイ・タイムラインの取組をHPで紹介しているほか、水位計や河川監視カメラの確認方法をわかりやすくまとめた動画や、水防演習の様子を収録したダイジェスト動画をSNS等で紹介しているので、**各市町村のHPへの掲載をお願いします。**

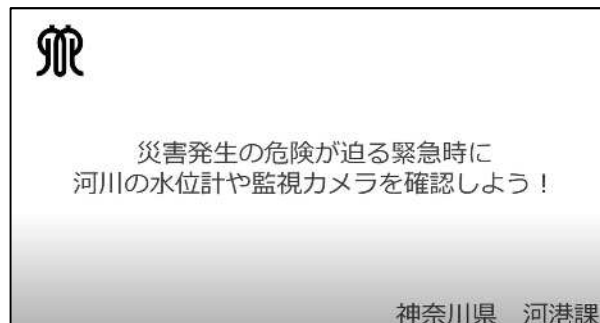
＜マイ・タイムラインHP＞ } 「神奈川県災害情報ポータル」及び「風水害や武力攻撃等に備えて」に掲載されています

- 【内容】
1. マイ・タイムラインとは
 2. マイ・タイムラインを知ろう
⇒紹介動画やパンフレットを掲載した
 3. マイ・タイムラインを作ろう
⇒各市町村のマイ・タイムライン関連ページへのリンク掲載
講座等での作成を希望される方への相談窓口を掲載

＜各種動画＞



「かなチャンTV」及び「令和4年度水防演習について」に掲載されています



「かなチャンTV」及び「神奈川県雨量水位情報」のリンク欄に掲載されています

2) 県外自治体の取組事例

取組事例の紹介について

◇ 要配慮者利用施設避難確保計画の作成支援（品川区）

○地域防災計画で指定した要配慮者利用施設の施設管理者を対象に、避難確保計画の作成会を開催し、計画作成および訓練の実施を支援した。

【令和3年度】

品川区において一般社団法人日本気象協会と委託業務を契約し、各施設管理者を一堂に集めた「避難確保計画作成会」を開催。計画の提出率100%を達成。

【今度の予定】

福祉・保育・教育部署と連携し、要配慮者利用施設の把握および当該施設の計画作成、訓練実施を支援していく。



3) 県内自治体の取組事例

取組事例の紹介について

◇ 避難確保計画の作成及び訓練実施報告（川崎市）

- 従来より市HP上で要配慮者利用施設あてに、「洪水に備えて」「土砂災害に備えて」といったアドバイス付きのひな型を掲載し、作成時の支援を実施するとともに、提出後の内容修正の支援を実施している。

【令和4年度】

- ・ 関係局と調整し、電子フォームでの訓練実施報告の受付を開始し、報告手続の簡便化と、関係局で随時回答状況を共有できる仕組みの構築を実施した。

【今後の予定】

- ・ 今後も検討を重ねながら実施していく。

4 防災体制-

(1) 次の目安により必要に応じて防災体制を確立する。

(早期の避難が必要な施設の場合(例:立ち退き避難が必要な場合、屋内安全確保(垂直避難)が可能だが施設利用者をご家族に引渡す場合など))

体制区分	体制確立の判断時期	注 意 内 容	対応要員
平常時			
注意体制	・大雨又は台風に関する気象情報発表 等。	・気象情報等の情報収集・伝達 ・防災体制・施設職員の参集判断	統括・情報班 施設管理者等(代行者)
警戒体制	・大雨洪水注意報発表 ・〇〇川(△△水位観測所)氾濫注意情報発表 ・〇〇川は氾濫注意水位情報の発表 等。	・洪水予報・避難に関する情報等の収集・伝達 ・施設利用家族への連絡 ・使用する資器材の準備	統括・情報班 避難誘導班
非常体制	・避難準備・高齢者等避難開始等の発令 ・大雨洪水警報発表 ・〇〇川(△△水位観測所)	・施設利用者への説明 ・施設利用者移動手段の確保 ・周辺住民等への事前協力依頼	統括・情報班 避難誘導班

コメント
川崎市 2018年11月21日
早期の避難が必要な施設の場合と、避難に長時間かからない施設の場合と2つがありますので、どちらか一方を選択してください。

市HP ひな型

別添：十村区長府令第1号、1号の別添第1号特別災害発生時の要配慮者利用施設の緊急避難体制確保計画に基づく訓練を実施すること、及び訓練実施後に市庁舎に於いて訓練結果を報告することが義務付けられています。

訓練実施を平日以上実施し、実施後は毎年1ヶ月以内に、十村フォーラムから報告をお願いします。(訓練内容を付けて確認して実施する場合は掲載にまとめて報告することができます。)

Q1. 訓練内容

Q2. 避難誘導所

Q3. 避難の分類

Q4. 本訓練結果報告の担当責任(問い合わせ先)

Q5. 避難確保計画に

訓練実施報告の電子フォーム受付

取組事例の紹介について

◇ 風水害体制マニュアルの見直し（平塚市）

○ 風水害における本市の体制を位置付けたマニュアルの見直しを行った。

【令和4年度】

- 本市における過去3年間の警報・注意報発令状況や参集時の雨量等をデータベース化し、職員の参集基準の見直しを行った。
- 各体制における目的、実施事項、協議事項等をマニュアルに位置付けた。

【今後の予定】

- 令和4年度出水期の対応等を踏まえ、見直しを予定。

平塚市風水害体制マニュアル(完全版) 令和4年7月版

このマニュアルは、平塚市災害対策本部の風水害時の体制及び対応等について、大枠を示したものです。各指標における職員配置や、対応業務等の詳細は、各部の災害対応マニュアル等で定めてください。

【水防体制指標とは】				【各水防体制指標の共通事項】			
このマニュアルは、平塚市災害対策本部の風水害時の体制及び対応等について、大枠を示したものです。各指標における職員配置や、対応業務等の詳細は、各部の災害対応マニュアル等で定めてください。				・体制の移行については、本部長(市長又は副市長)、又は危機管理監、本部経長の判断により行う。 ・対応の長期化に備えて、災害対策本部各部署内又はブロック内の職員(部長長級含む)でローテーション対応を考慮する。 ・初期対応は指標4、又は危機管理監が必要と認められた場合、災害対策本部事務局に参集して連携に関する業務を行う。			
水防体制指標1 情報収集・連絡体制	目的 災害発生時の迅速な情報収集を行う。	体制判断の目安 ・大雨警報、又は洪水警報が発令され、かつ、河川水位等が警戒水位に近づいている場合、情報収集・連絡体制を構築する。	参加職員 ・各部署の担当職員	対応 ・各部署は、情報収集を行う。	【各水防体制指標にて開催する会議について】 ・指標1では会議を開催しない。 ・指標2以降の初期会議は、原則として水防体制指標のメール配信後、「30分以内」を目安に本館3階「302会議室」で実施する。 ・指標3以降の会議は、会議内容を各部署内で情報共有することや、必要に応じて各部署への状況確認等を行うための職員を確保させることが出来る。 ・指標4以降の会議は対応の長期化を考慮し、各部署から部長又は副部長1名及び上級職員1名の参加を基本とする。 ・本マニュアルに示した協議事項は基本的なものであり、状況に応じて協議内容を変更する。		
水防体制指標2 準備・初期対応体制	目的 災害発生時の迅速な体制構築を行う。	体制判断の目安 ・大雨警報、又は洪水警報が発令され、かつ、河川水位等が警戒水位に近づいている場合、体制構築を行う。	参加職員 ・各部署の担当職員	対応 ・各部署は、体制構築を行う。	初期対応体制会議出席者 ・危機管理監(総務課長)	協議事項 ・体制構築の進捗	
水防体制指標3 警戒体制	目的 24時間以内の災害発生に備える。	体制判断の目安 ・24時間以内の大雨警報が発令され、かつ、河川水位等が警戒水位に近づいている場合、警戒体制を構築する。	参加職員 ・各部署の担当職員	対応 ・各部署は、警戒体制を構築する。	警戒体制会議出席者 ・危機管理監(総務課長)	協議事項 ・警戒体制の進捗	
水防体制指標4 風水害警戒本部	目的 災害発生時の迅速な体制構築を行う。	体制判断の目安 ・大雨警報、又は洪水警報が発令され、かつ、河川水位等が警戒水位に近づいている場合、風水害警戒本部を構築する。	参加職員 ・各部署の担当職員	対応 ・各部署は、風水害警戒本部を構築する。	風水害警戒本部会議出席者 ・市長(市長不在時は副市長)	協議事項 ・風水害警戒本部の体制	
水防体制指標5 災害対策本部	目的 災害発生時の迅速な体制構築を行う。	体制判断の目安 ・大雨警報、又は洪水警報が発令され、かつ、河川水位等が警戒水位に近づいている場合、災害対策本部を構築する。	参加職員 ・各部署の担当職員	対応 ・各部署は、災害対策本部を構築する。	災害対策本部会議出席者 ・市長(市長不在時は副市長)	協議事項 ・災害対策本部の体制	

※水防体制の移行は、気象予報や注意報及び警報の発表、河川水位等の状況を含めて、総合的に判断します。そのため、目安や、指標の数字順通りに移行しない場合があります。

取組事例の紹介について

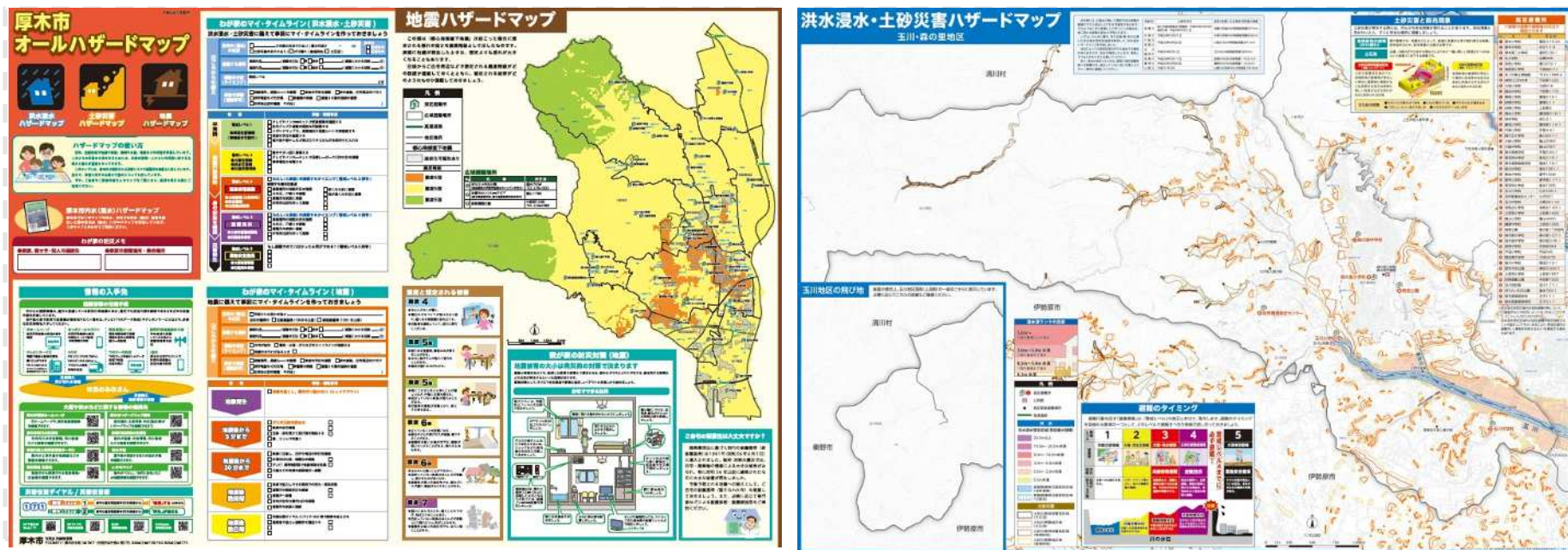
◇ オールハザードマップ（厚木市）

【令和3年度】

- ・ 洪水浸水想定区域、土砂災害警戒区域、震度分布図、液状化危険度、マイタイムラインが1つになったオールハザードマップを作成し、全戸配布を実施
- ・ 洪水浸水想定区域・土砂災害警戒区域のマップ面は市内を4分割にし、地域別に作成
- ・ 地図データで検索ができるよう「厚木タウンマップ」へ搭載

【今後の予定】

- ・ 危機管理課等の窓口で配布



取組事例の紹介について

◇ 学校と連携した防災教育の取組み（山北町）

- 県立山北高校において学校設定科目「あしがら」（地域防災）と連携した防災教育に職員を派遣し、山北町の防災上の特性、特に風水害特性について教育

【令和4年度】

- ・ 10月7日及び10月28日の2日間、2年生（98名）を対象に学校内及び学校周辺の浸水想定区域（現地）において実施

【今度の予定】

- ・ 11月以降、引き続き2回の防災教育を予定



尺里川流域の浸水想定様相の学習



マイタイムラインの作成

4) 参考資料

国の取組事例

取組事例の紹介

◇ 防災教育の取組について（京浜河川事務所）

○ 川崎市立上丸子小学校において、多摩川における防災教育の為の出前講座を実施

【令和4年度】

- ・ 6月23日、丸子橋上流グラウンドにおいて5年生を対象に実施
- ・ 身近な多摩川において、防災の観点から学習し、児童自らが防災に関する情報を地域の方に発信できるようになるという目的のもと授業を行った

【今度の予定】

- ・ 今後も依頼のあった授業の形式（課外授業やWEB授業等）に則って実施



県外自治体の取組事例

取組事例の紹介について

◇ 独自様式による避難確保計画の作成（東京都江戸川区）

- 令和元年度に要配慮者利用施設が容易に計画を作成できるよう独自の様式を作成。
- 施設の形態に合わせて「入所施設」と「通所施設」の2パターンの様式を用意。
- 広域避難を前提とした計画の作成を推進。
- 施設を所管する部署と連携し、施設に対し計画作成の促進を行う。
- 対象施設に対し、本区の地勢や避難確保計画の概要及び作成方法の説明会を実施。



横浜・川崎地域

取組事例

取組事例の紹介について

◇ 横浜市水防災情報スマホ版の公開等（横浜市）

○市内外の水位情報を掲載している「横浜市水防災情報」のページをより多くの方に知っていただくため、令和3年12月からスマホ版を公開しました。また、令和4年度からSNS等でPRをしています。

スマホ版の閲覧数は、現在、パソコン版を上回っています。

【令和4年度】 6月（17日・19日）・9月（17日）にSNSでPR

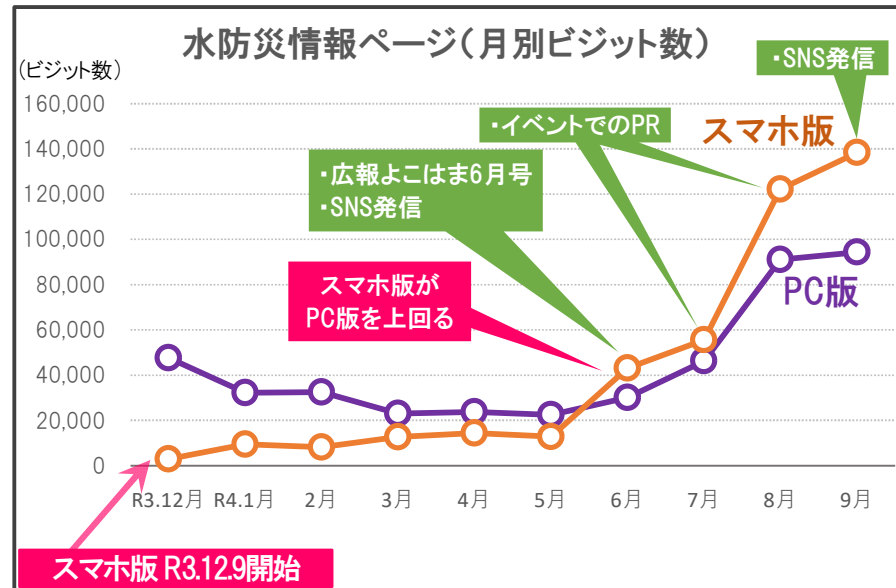
【今後の予定】 今後も引き続き、広報・啓発活動を実施します。

LINEでの発信



Kanagawa Prefectural Government

Twitterでの発信



※ビジット数・・・水防災情報ページへの訪問者数

取組事例の紹介について

◇防災アプリ「横浜市避難ナビ」(横浜市)

- 横浜市避難ナビは、一人ひとりの避難行動を平時から災害時まで、一体的に支援するアプリです。
- 主な機能：ARを活用した浸水疑似体験、マイ・タイムラインの作成、ハザードマップや避難所・避難場所の確認 等
- 災害時には、あらかじめ作成したマイ・タイムラインと連動した避難情報のプッシュ通知や、避難場所の開設状況の確認ができます。

【令和4年度】

防災イベントや市HP、テレビ・ラジオ等、あらゆる機会をとらえて、周知啓発を実施しています。

実証実験を通じて、意見集約や機能改善を図っています。

【今後の予定】

令和5年度から本格運用を目指しています。

Kanagawa Prefectural Government





三浦半島地域

取組事例

取組事例の紹介について

◇ 令和4年度津波避難訓練（逗子市）

○大規模地震発生時の津波対応力を高めるとともに、関係機関との連携体制を検証し、併せて津波避難について海浜利用者、市民及び在勤者等への普及啓発を図ることを目的とし、年2回実施。

【令和4年度】

1. 津波避難訓練（逗子海岸）

日時：令和4年7月23日(土) 午前10時00分～午前10時25分

※海浜利用者等を対象して、逗子海岸にて実施。参加人数約550人

2. 津波避難訓練（市内一斉）

日時：令和4年11月7日（月）午前10時00分～午前11時00分

※市民及び在勤者等を対象として、指定緊急避難場所（津波）31施設のうち、15施設を開放し市内一円にて実施。参加人数 約1,500名

【今度の予定】

- ・今後も実施

取組事例の紹介について

7月23日（土）及び11月7日（月）に実施した津波避難訓練の状況



【7.23】津波フラッグの掲出（中央監視所）



【7.23】シェイクアウト訓練



【7.23】水難救助訓練デモンストレーション



【11.7】指定緊急避難場所（津波）施設屋上

藤沢・相模原地域

取組事例

取組事例の紹介について

◇ マイ・タイムライン出前授業（相模原市）

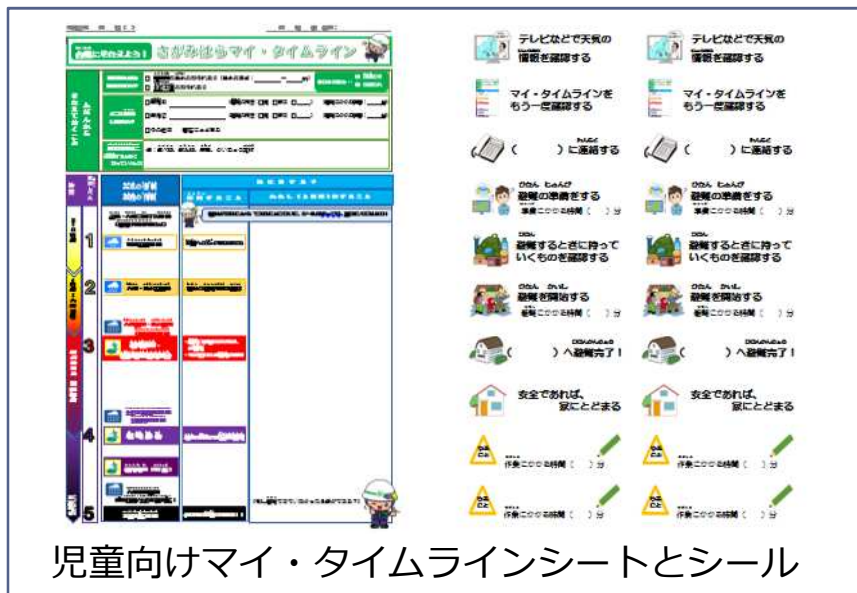
- 令和元年東日本台風を教訓にした防災教育のため、令和2年度から市内の小学校で、市職員が講師となり、マイ・タイムラインを作成する出前授業を実施

【令和4年度】

- ・ 10月 市立鳥屋小学校（5、6年生 13名参加）及び市立藤野北小学校（4年生 4名参加）において実施

【今後の予定】

- ・ 今年度中に、他の小学校5校で実施予定



取組事例の紹介について

◇ マイ・タイムラインの取り組み（茅ヶ崎市）

- マイ・タイムラインの取り組みを促進するため、市内（浸水想定区域）の住民に対して、マイ・タイムラインの作成について講話を実施した。

【令和4年度】

- ・ 令和3年度に洪水・土砂災害ハザードマップと一緒にマイ・タイムラインの作成方法を掲載したガイドブックを市内全戸配布しており、このガイドブックを用いた防災講座を実施し、市民のマイ・タイムライン作成を促している。

【今後】

- ・ 引き続き、地区防災訓練や防災講座をつうじたマイ・タイムライン作成を促していく。



9月4日に実施した防災講話の状況

取組事例の紹介について

◇ 洪水・土砂災害ハザードマップ^①（大和市）

洪水・土砂災害ハザードマップの多言語化を実施。

【令和4年度】

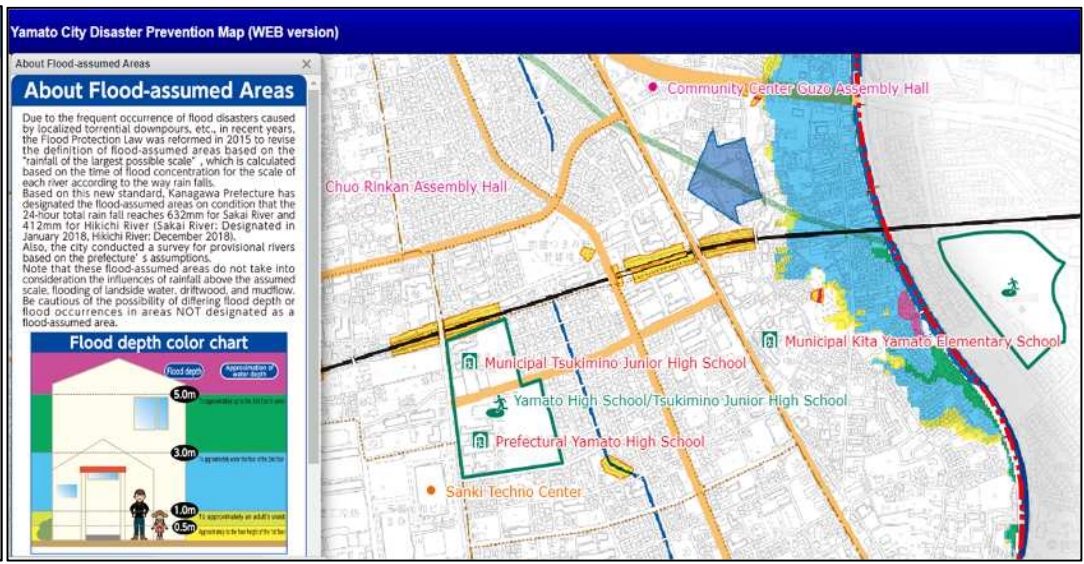
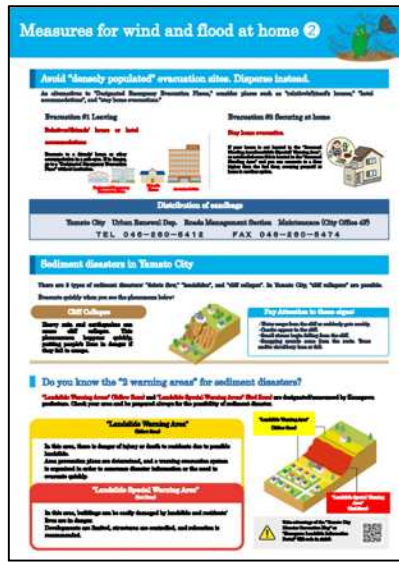
- ・ 令和4年3月に更新した洪水・土砂災害ハザードマップ（防災マップ）の4か国語（英語・中国語・スペイン語・ベトナム語）に対応した情報面の掲載と地図面のWeb版を公開。

【今後の予定】

- ・ 今後も継続してメンテナンス等を実施



Kanagawa Prefectural Government
防災マップ（紙版）



Web版防災マップ

取組事例の紹介について

◇相模川氾濫のおそれがある場合の立体駐車場への避難（海老名市）

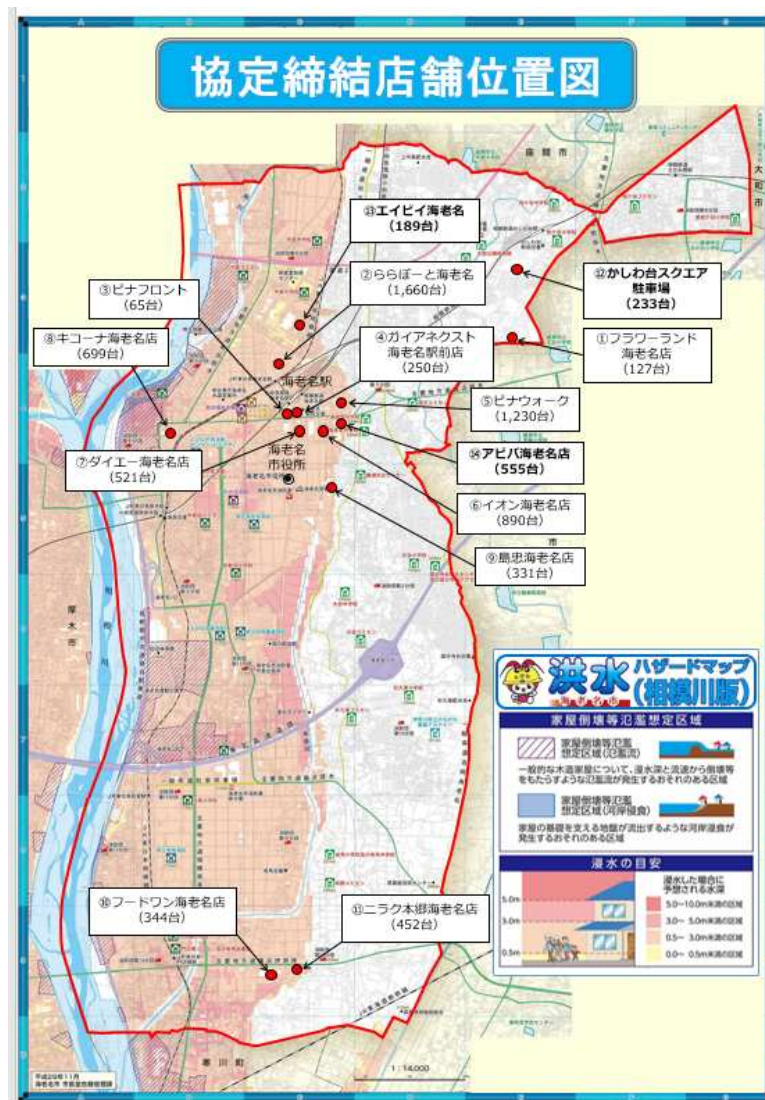
- 相模川氾濫のおそれがある場合に、市民が車両で緊急避難できる場所を確保するため、市内の立体駐車場を有する企業に駐車スペースを無料で開放していただく、「水害時緊急避難場所としての駐車場の一時使用に関する協定」を締結。

【令和4年度】

7月28日に更なる駐車スペース拡充のため、3社3施設（約1,000台分）と締結。
※協力店舗数：13社14施設（7,546台）
（令和4年10月1日現在）

【今度の予定】

今後も更なる確保を図ります。



取組事例の紹介について

◆ 防災講話によるマイタイムライン啓発（座間市）

- 市とNPO法人ざま災害ボランティアネットワークの協働事業として、市民防災講座「災害のマイタイムラインを考えよう」を実施。

【令和4年度】

- ・ 令和4年6月25日（土）、座間市消防本部において実施（約40人参加）
- ・ 講話とワークショップ形式による二部構成で実施。

【今度の予定】

- ・ 令和4年10月9日（日）、市北地区文化センターにおいて2回目となる同講座を実施予定。



ワークショップの様子

取組事例の紹介について

◇ 防災シンポジウムの開催（綾瀬市）

1 目的 防災の専門家による講演及び市民等を交えた討議を通じて、市民の防災意識の向上を図り、災害時の自助・共助の力を養うことで、大規模災害時の被害の軽減、迅速な復旧・復興を果たすことを目的とする。

2 テーマ 知って安心！防災・気象情報と取るべき行動！

3 内容

(1) 講演 「風水害から身を守る」（横浜地方気象台）

(2) 討議 テーマに沿って市及び地域での取り組み状況や、
県危機管理アドバイザーのコーディネートにより討議を行う。

登壇者：県危機管理アドバイザー、市長、横浜地方気象台、自主防災組織等

4 日時 令和5年1月14日(土) 9：30～12：00

5 会場（定員） 綾瀬市オーエンス文化会館（大ホール） 定員1,350名

6 主催 綾瀬市自治会長連絡協議会、綾瀬市（共催）

7 参加対象者 市民等

8 その他 手話通訳、要約筆記を実施

取組事例の紹介について

◇ マイ・タイムラインの取組（寒川町）

【令和4年度】

- ・ 災害発生時に命を守る行動や平時の備えなどの情報をまとめた寒川町防災ハンドブックを作成。
- ・ 風水害時の備えとして、マイ・タイムラインの作成方法を掲載。

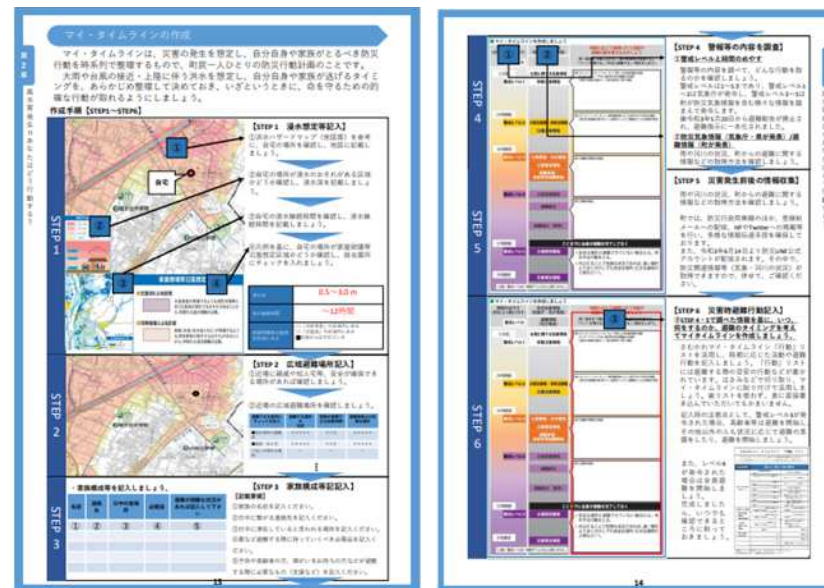
【今度の予定】

- ・ 各種防災訓練において、本ハンドブックの説明に併せ、マイ・タイムラインの説明を実施していく。



Kanagawa Prefectural Government

マイ・タイムライン作成方法



取組事例の紹介について

◇ マイ・タイムラインの取組（町田市）

- 防災気象情報を正しく理解し、地域の災害リスクを知り、災害時に取るべき行動を事前に決めることで適切な避難行動を考えるため実施（東京都と連携）

【令和4年度】

- ・ 7月15日から9月12日までの6日間、町田市役所において初級者コース5回、中～上級者コースを6回実施（35人参加）

【今度の予定】 令和5年度も実施予定



8月29日に実施した研修のようす



厚木地域

取組事例

取組事例の紹介について

◇ 愛川町洪水・土砂災害ハザードマップ°（愛川町）

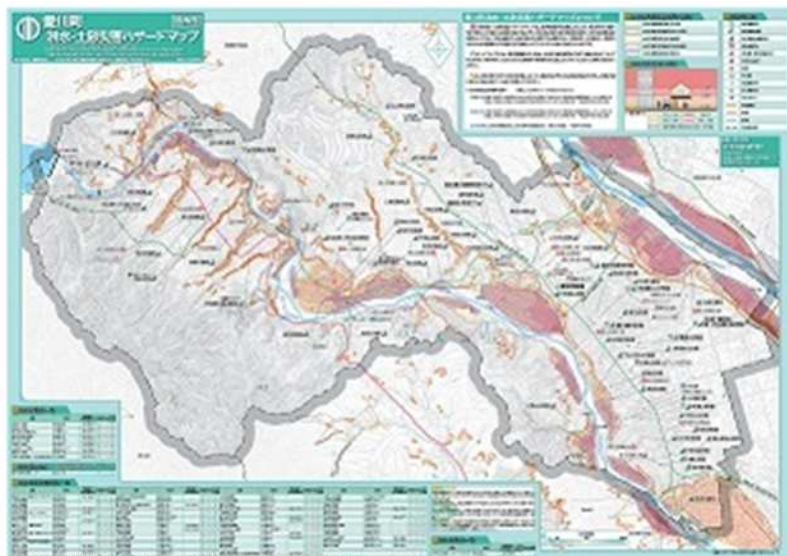
- 水防法第15条第3項に基づき、想定最大規模の洪水ハザードマップの作成を実施しています。

【令和4年度】

- ・ 洪水と土砂災害の危険な区域が確認できるハザードマップを作成、町民へ配布(自治会配布)

【今度の予定】

- ・ 今後も区域等の見直しがあった場合など必要に応じて更新予定。





平塚地域

取組事例

取組事例の紹介について

◇ 河川情報や災害情報の「見える化」 (秦野市)

○近年、激甚化・頻発化する自然災害において、一人ひとりの状況に即した避難情報の発令は困難であり、避難の最終判断は「個人」に委ねられることから、市民の皆さんが「自らの命は自らが守る」という意識を持ち、自分で決める主体的な避難行動を最大限支援するため、河川水位やカメラ画像、浸水想定区域などの防災情報を自分のスマートフォンから確認することができる「秦野市総合防災情報システム」を、令和4年7月1日から運用を開始した。

また、スマートフォンの操作に不慣れな65歳以上の高齢者等を対象に、自身のスマートフォンから本システムの操作方法を学ぶ「やさしい防災講習会」を開催する。

【令和4年度】

- ・7月15日から8月1日までの17日間、12会場において実施（約90人参加）

【今度の予定】

- ・継続して講習会を実施

取組事例の紹介について

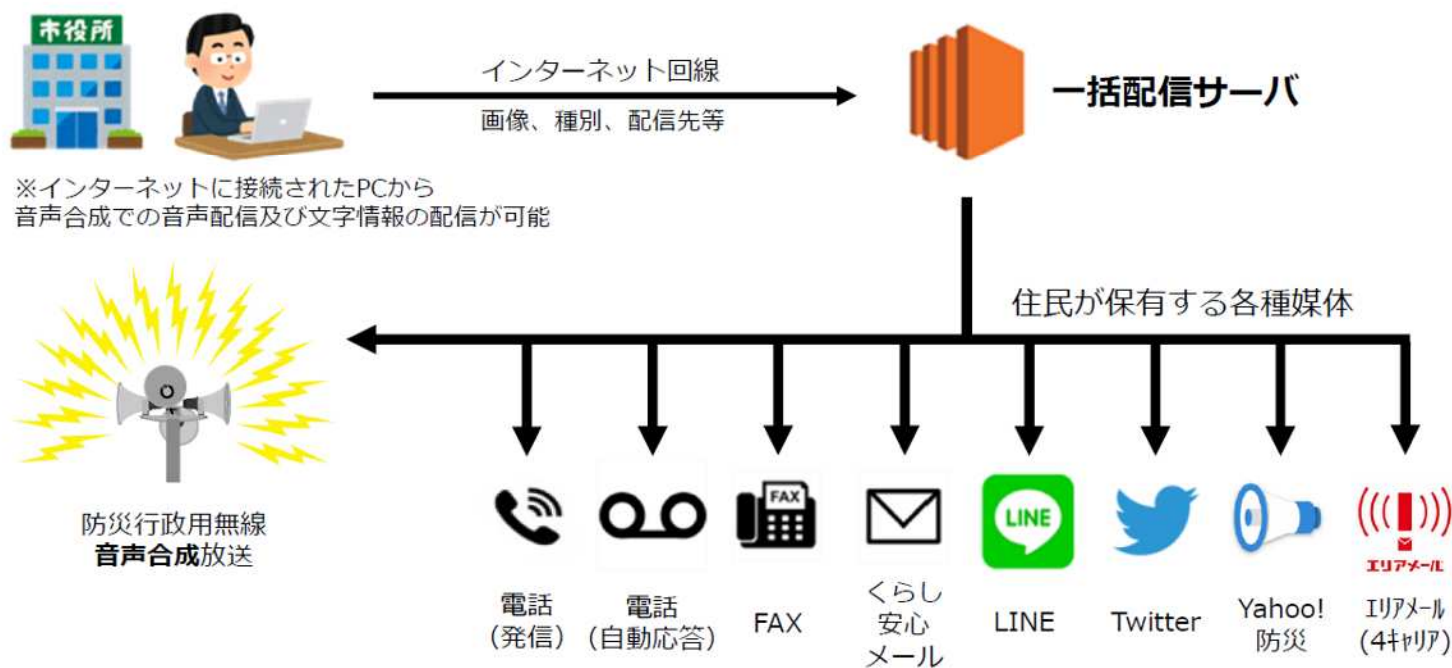


取組事例の紹介について

◇防災行政用無線一括配信システム整備（伊勢原市）

防災行政用無線一括配信システム配信概要図

インターネットに接続されたパソコンから、Web管理ツールを用いて、防災行政用無線の放送（音声合成）、住民が保有する各種媒体（電話（自動応答・発信）、FAX、いせはらくらし安心メール、LINE、Twitter、Yahoo!防災速報、エリアメール）へ防災情報を配信することが可能なシステム。



取組事例の紹介について

◇ 風水害対応に関する自助強化（二宮町）

【令和4年度の実施内容】

- ・ 町内の各地区で実施される自主防災訓練や町主催で実施する地区の防災指導員を対象とした研修会等でタイムライン及びマイタイムラインまた洪水浸水ハザードマップの説明を実施。

【今度の予定】

- ・ 引き続き自主防災訓練や研修会等、町民が集まる場において周知していく。

【洪水浸水想定区域図】

町内各地区の洪水浸水想定区域を示した地図。浸水想定区域は、河川、湖沼、貯水池、堤防、防潮堤等の浸水想定区域を示している。

時間軸

台風や前線に伴う二宮町タイムライン（防災行動計画）

時間の流れ

マイタイムライン

マイタイムラインとは、水害・土砂災害等の発生時、どのような行動をとるべきかを、地域防災計画に基づき、個人・家庭単位で作成する防災計画のことです。



5月15日に実施した防災指導員研修会の状況



県西地域

取組事例

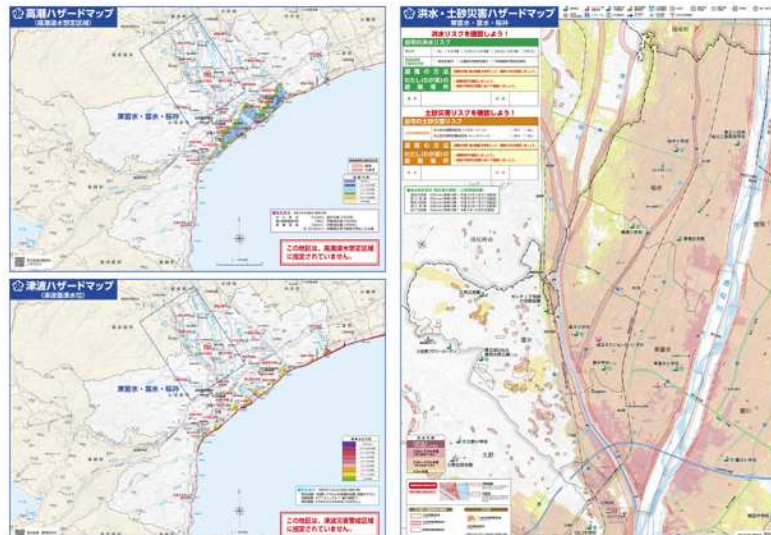
取組事例の紹介について

◇ ハザードマップの一元化（小田原市）

○ 洪水、土砂、津波のハザードマップが河川や地区ごとに複数種類あり、市民からも分かりづらいとの意見があったため、ハザードマップの一元化を行った。

【令和4年度】

- ・ 市内を8地区に分割し、洪水、土砂、高潮、津波のハザードマップを1面に集約したハザードマップを作成し、9月に配布した。
- ・ 情報面には、「マイ・タイムライン」記入シートもあり、市民それぞれが避難行動を整理できるようにした。



ハザードマップ面

「マイ・タイムライン」記入シート

【マイ・タイムライン】記入シートを使って、「いつ」「何を」するのかわかりやすい避難行動を事前に整理しておきましょう！

		危険度				
		低い				高い
		今後気象状況変化のおそれ	気象状況悪化	災害発生のおそれあり	災害のおそれ高い	災害発生又は被害
警戒レベル	避難情報	警戒レベル1	警戒レベル2	警戒レベル3 (危険な場所から高齢者等は避難！)	警戒レベル4 (危険な場所から全員避難！)	警戒レベル5 (命の危険 直ちに安全確保！)
	避難行動			高齢者等避難 (市が発令)	避難指示 (市が発令)	緊急安全確保 (市が発令)
気象情報		大雨注意報 / 洪水注意報 高潮注意報 警戒レベル2相当情報	警戒レベル3相当情報 洪水 土石流警戒情報 / 洪水警戒 土砂 大雨警戒 (土砂災害) 津波 土砂災害警戒 半キロル 注意	警戒レベル4相当情報 洪水 土石流警戒情報 土砂 土砂災害警戒情報 半キロル 危険	警戒レベル5相当情報 洪水 大雨特別警戒 (土石流発生危険) 土砂 大雨特別警戒 (土砂災害) 半キロル 災害切迫	
わたしが家の動き						
見守り						
作成のポイント	いつ	<ul style="list-style-type: none"> ● 台風の手配が出たら ● 大雨・洪水警戒が出たら ● 避難判断水位に到達したら 	<ul style="list-style-type: none"> ● 大雨・洪水注意報が出たら ● 洪水警戒が出たら ● 緊急避難メールを受信したら etc... 	何を	<ul style="list-style-type: none"> ● どう避難するかをチャット ● 私の家族の安全を確認 ● 避難場所 	<ul style="list-style-type: none"> ● 近所に声かけ ● 水浸しやインターネットで確認 ● 避難行動を完了 ● 帰宅の準備 etc...

情報面（マイ・タイムライン記入シート）

取組事例の紹介について

◇ ハザードマップ勉強会（大井町）

- ハザードマップ更新にあたり、防災安全課より、町民に対し、ハザードマップ勉強会を実施したほか、出前講座等においてもハザードマップの見方について周知を図った。

【令和4年度】

- ・ ハザードマップ勉強会
6月18日、午前・午後の2会場において実施（約10人参加）
- ・ 第1回自主防災組織リーダー等研修会
6月19日 1会場において実施
（約50人参加）
- ・ 出前講座
6月10日～9月27日 8会場に
おいて実施（約250人参加）

【今後の予定】

- ・ 今後も出前講座などの場面を通じ周知予定



6月19日に実施した自主防災組織
リーダー等研修会の状況

取組事例の紹介について

◇地震及び風水害に係る災害対策（開成町）

○ 3町民集会を開催し、地震、風水害、富士山噴火に関する説明を実施

【令和4年度】

・ 6月22日、25、27日の3日間、3会場において実施（約1000人参加）

【今度の予定】

・ 今後も定期的を開催し、町民への周知を図る。



6月27日足柄上合庁で実施した町民集会の状況

取組事例の紹介について

◇ 防災出前講座（箱根町）

町民等に対し防災に関する知識・技能の普及啓発を行い、町民等の災害対応力の強化を図るとともに、地域防災の担い手となる人材の発掘に努める。

【令和3年度】

- 第1回「箱根町に起こる災害」
 - 第2回「マイタイムライン」
 - 第3回「ハザードマップの使い方」
 - 第4回「総合防災センター研修」
 - 第5回「日ごろの備え」
- (5科目延べ20回実施、62名受講)

【令和4年度】

- 第6回「地域の防災活動」
- 第7回「救助技術」
- 第8回「避難所のルール作り」
- 第9回「避難所生活体験」
- 第10回「避難所運営体験」



令和3年7月に実施した「マイタイムライン」の講座の様子

取組事例の紹介について

◇ タイムラインの周知（湯河原町）

- 避難情報の発令に着目したタイムラインを周知するため、防災講演会で、その内容を周知するとともにパネルディスカッションを実施

【令和4年度】

5月15日（日）午後1時30分～午後4時15分、湯河原町防災コミュニティセンターにおいて実施（92人参加）

タイムライン

風水害・土砂災害から身を守るために		防災情報の発令に着目したタイムライン	
災害状況	警戒レベル	町の対応の一例 (※自治体独自対応あり)	住民の各々の行動の一例
<ul style="list-style-type: none"> 避難指示 避難指示解除 	5	<ul style="list-style-type: none"> 【緊急安全確保】 警戒レベル5、大規模な避難指示が発令された場合は、避難指示に従って避難行動をとる。 	<ul style="list-style-type: none"> 直ちに命を守る行動をとる！ 迅速避難する！
<ul style="list-style-type: none"> 警戒レベル4 避難指示 避難指示解除 	4	<ul style="list-style-type: none"> 【避難指示の発令】 警戒レベル4、大規模な避難指示が発令された場合は、避難指示に従って避難行動をとる。 	<ul style="list-style-type: none"> 速やかに避難先へ避難する！
<ul style="list-style-type: none"> 警戒レベル3 避難指示 避難指示解除 	3	<ul style="list-style-type: none"> 【避難指示の発令】 警戒レベル3、大規模な避難指示が発令された場合は、避難指示に従って避難行動をとる。 	<ul style="list-style-type: none"> 避難に躊躇をしない人は、避難先へ避難する！ 避難に躊躇をしない人は、避難先へ避難する！
<ul style="list-style-type: none"> 警戒レベル2 避難指示 避難指示解除 	2	<ul style="list-style-type: none"> 【避難指示の発令】 警戒レベル2、大規模な避難指示が発令された場合は、避難指示に従って避難行動をとる。 	<ul style="list-style-type: none"> 避難に躊躇をしない人は、避難先へ避難する！ 避難に躊躇をしない人は、避難先へ避難する！
<ul style="list-style-type: none"> 警戒レベル1 避難指示 避難指示解除 	1	<ul style="list-style-type: none"> 【避難指示の発令】 警戒レベル1、大規模な避難指示が発令された場合は、避難指示に従って避難行動をとる。 	<ul style="list-style-type: none"> 台風や大雨が近いうちに来たら、避難先や明なとからの情報に注意する！

防災講演会の状況

